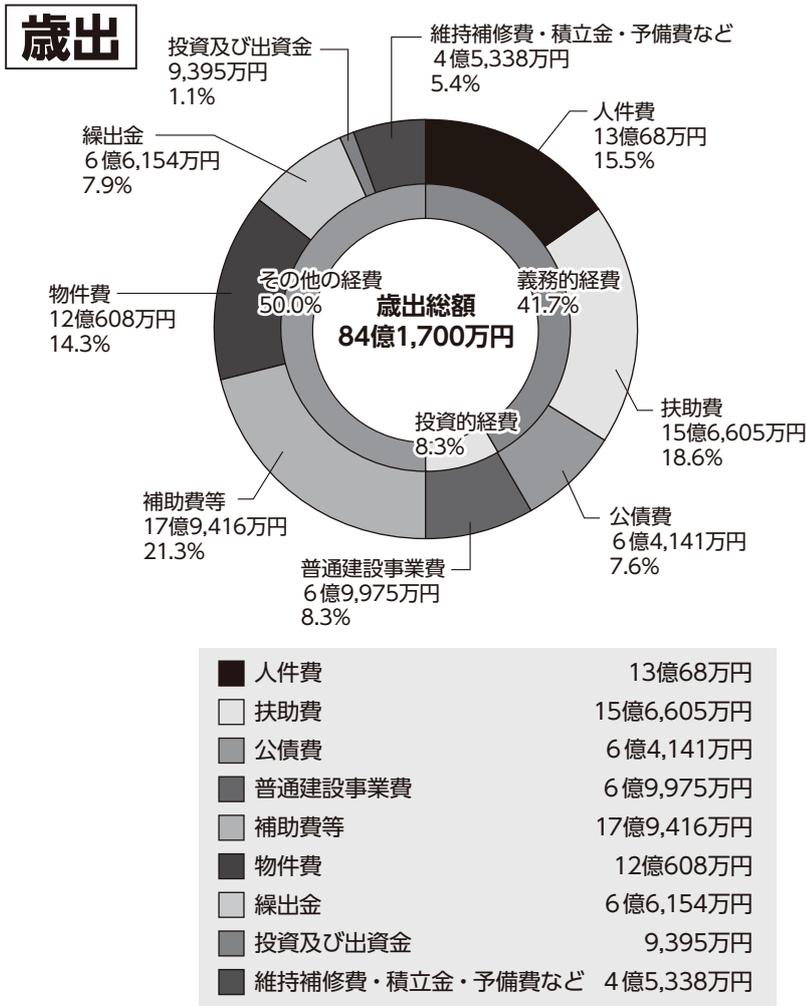


町の令和8年度の当初予算が3月議会で可決されました。特別会計を含めた全会計の予算規模は、総額で148億7,398万円となり、令和7年度当初予算に比べて14億7,070万円の増額となっています。

また、一般会計の予算規模は、総額84億1,700万円で令和7年度当初予算に比べて14億8,500万円の増額となっています。



歳出

を性質別（どのような性質の経費がどのくらい使われたのかを示すもの）に見ますと、人件費、扶助費（児童・高齢者・障がい者などの福祉に使われる経費）、公債費（借金の返済）などに義務付けられている経費（義務的経費）は、35億814万円で全体の41.7%を占めています。

また、令和7年度に比べ伸びているのが普通建設事業費です。主に、道路や施設建設に使われる経費（投資的経費）で構成され、全体の8.3%を占めています。この主な増加の要因は、消防第3分団8部および9部格納庫更新工事費、防災行政無線設備改修工事費、町内小学校屋内運動場空調整備工事費などの増加によるものです。

会計名	予算額	前年度との増減率
国民健康保険特別会計	19億5,670万円	△5.7%
介護保険特別会計	18億6,100万円	+6.0%
後期高齢者医療特別会計	3億6,990万円	+18.9%
水道事業会計	収益的支出（3条）	2億3,915万円 △3.0%
	資本的支出（4条）	4億4,048万円 +73.9%
下水道事業会計	収益的支出（3条）	8億2,563万円 +1.5%
	資本的支出（4条）	7億6,412万円 △22.7%

特別会計とは、特定の収入をもって特定の支出にあてるような事業について、その収支を明確にするため一般会計と区別して設けられるものをいいます。この会計の設置は法律に基づくもののほか、すべての条例に基づかなければなりません。

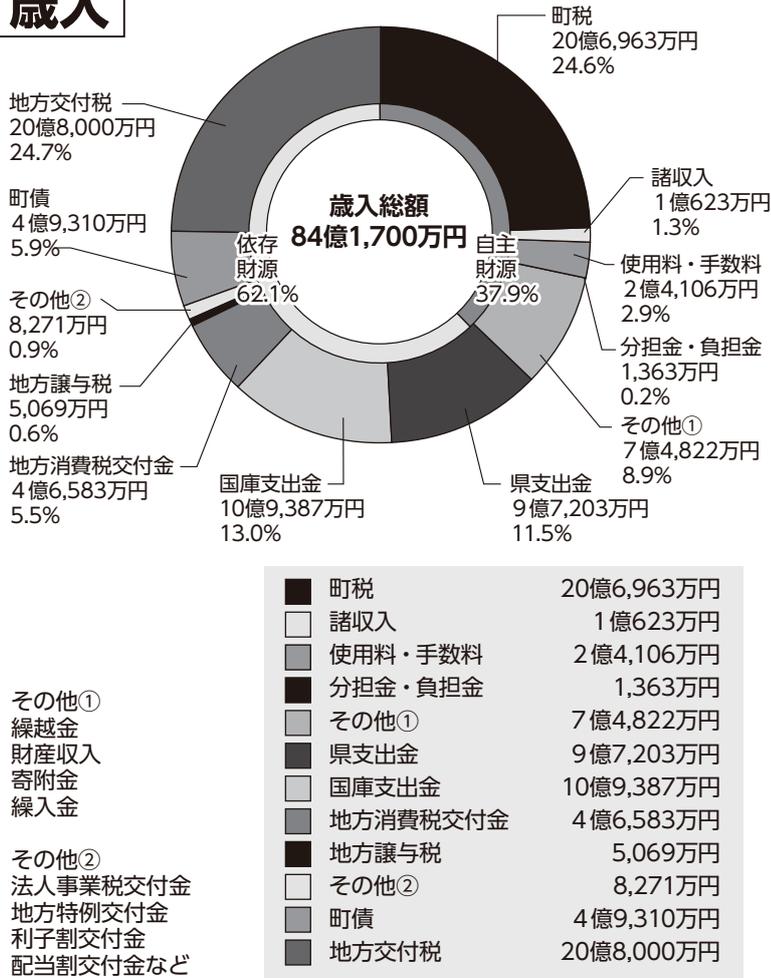
また、この他に地方公営企業会計（地方公共団体が社会公共を目的として経営する企業）として、水道事業会計、下水道事業会計があります。

令和8年度 当初予算

予算総額148億7,398万円

一般会計総額 84億1,700万円

歳入



歳入

には、自主財源と依存財源があります。

町税など、町が自主的に収入することができる財源（自主財源）は31億7,877万円で、全体の37.9%です。そのほとんどが町民の皆さんの納める町税となっており、前年度から4億9,045万円増加しています。

国や県から、定められた額の交付を受けて割り当てられた収入（依存財源）が52億3,823万円で、全体の62.1%を占めています。

主なものは、地方交付税と呼ばれるものや国・県のお金です。

令和7年度一般会計補正予算

令和7年度の一般会計補正予算が3月議会において可決されました。

一般会計補正予算額 2億226万円 一般会計予算総額98億1,812万円

可決された補正予算は、国の補正予算などを活用して実施される町営住宅改修工事を中心に編成されています。

【補正予算の主な内容】

- ◆長洲港土砂処分場整備事業負担金 3,000万円
- ◆町営住宅改修事業 6,300万円